ひふみのあゆみ

ひふみ投信 追加型投信/内外/株式

2022年5月度 月次ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ 資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、ありがとうございます。 運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。

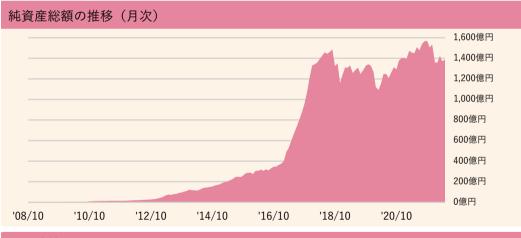




作成基準日:2022年5月31日

運用実績





運用成績						
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ひふみ投信	0.54%	0.73%	-10.74%	-9.84%	23.90%	448.37%
TOPIX	0.78%	2.59%	0.57%	1.84%	35.80%	135.65%

ひふみ投信の運用状況			
基準価額	54,837円		
純資産総額	1,387.52億円		
受益権総口数	25,302,507,294口		
ひふみ投信 投資信託財産の構成			
ひふみ投信マザーフ	7ァンド 99.91%		
現金等	0.09%		
合計	100.00%		

分配の推移	(1万口当たり、	税引前)
第13期	2021年9月	0円
第12期	2020年9月	0円
第11期	2019年9月	0円
第10期	2018年10月	0円
第9期	2017年10月	0円
第8期	2016年9月	0円
設定	定来合計	0円

- ※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ 投信」の一万口あたりの値段のことです。 また信託報酬控除後の値です。
- ※ ひふみ投信の当初設定日の前営業日 (2008年9月30日)を10,000円として指 数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設 定来の運用成績の表を作成しています。
- ※TOPIXは、全てTOPIX(配当込み)を用いています。TOPIX(配当込み)は当ファンドのペンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社JPX総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ペースの時価総額加重方式により算出されます。
- ※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る 標章または商標は、株式会社JPX総研 または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) の知的 財産であり、指数の算出、指数値の公表、 利用などTOPIX等に関するすべての権 利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章 または商標に関するすべての権利はJP Xが有します。JPXは、TOPIX等の指 数値の算出または公表の誤謬、遅延また は中断に対し、責任を負いません。当 ファンドは、JPXにより提供、保証ま たは販売されるものではなく、当ファン ドの設定、販売および販売促進活動に起 因するいかなる損害に対してもJPXは 責任を負いません。
- ※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率 や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。
- ※「純資産総額」は100万円未満を切捨て で表示しています。
- ※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。
- ※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。
- ※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド(親投資信託)を通じて実質的に株式へ投資しています。
- ※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

╙┅╫┈

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーフ	ァンドの状況
純資産総額	6,803.58億円
組み入れ銘柄数	240銘柄

市場別比率	
プライム市場	81.37%
スタンダード市場	2.72%
グロース市場	1.66%
その他海外株	5.02%
現金等	9.23%
合計	100.00%

資産配分比率	
国内株式	85.75%
海外株式	5.02%
海外投資証券	-
現金等	9.23%
合計	100.00%

- ※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。
- ※「資産配分比率」の株式には新株予約 権を含む場合があります。「海外投資 証券」はREIT(不動産投資信託)等で す。
- ※「現金等」には未収・未払項目などが 含まれるため、マイナスとなる場合が あります。



※業種別比率について:東証33業種分類 を用いて表示しています。非保有の業 種は表示されません。

また海外株式、海外投資証券について は「その他海外株」として表示してい ます。



ひふみ投信と市場の比較

'10/10

'12/10

'14/10

時価総額別比率	
大型株(3,000億円以上)	65.59%
中小型株(300億円以上、3,000億円未満)	22.69%
超小型株(300億円未満)	2.49%
現金等	9.23%
合計	100.00%

アクティブシェア

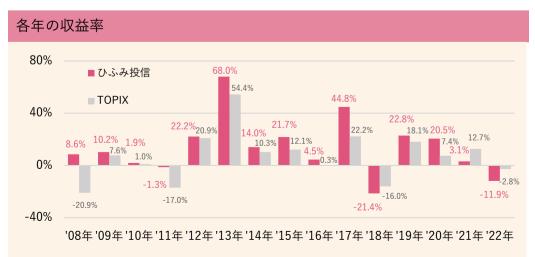
73.79%

'16/10

'18/10

'20/10





※「時価総額別比率」は基準日時点の Bloombergの情報を基に作成しており まま

※アクティブシェアについて:基準日 時点のTOPIXと比較

解説:アクティブシェアとは

ポートフォリオがベンチマークとどれだけ異なっているかを示します。アクティブシェアは0%~100%の間の数値で100%に近いほど、ベンチマークと異なるポートフォリオであることを示します。TOPIX(配当込み)はひふみ投信マザーファンドのベンチマークではございませんが、参考として算出しています。

※値動きの大きさの推移について:設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表示したもの。

解説:リスクの推移の意味

ひふみ投信とTOPIXのリスク量を比較して分かる事は、簡単に言えば「どのくらいアクセルを踏んでいるか」ということです。アクティブ運用の投資信託は市場環境等に応じて中身(ポートフォリオ)を変化させます。より値動きが大きくなっても上昇機会を得られるとして中身を変化させると、リスクを維持しており、安定的な値動きの運用を目指していることが分かります。

※株式市場への値動きの連動性について:設定来の日次リターンを基に過去 250営業日の対TOPIXとひふみ投信のベータ値の推移を表したもの。

解説:ベータの推移の意味

上記のグラフにおけるベータは、TOPIXに対してひふみ投信がどのくらい連動するかを表します。仮に0.8のとき、TOPIXが1上がると、ひふみ投信は0.8程度の上昇が見込まれます。逆にTOPIXが1下がると、ひふみ投信は0.8程度の下落に留まると見込まれます。

※各年の収益率について:暦年ベース、 2008年は9月末から年末まで、当年 は作成基準日(レポート1ページ目 右上をご覧下さい)まで。

※各年の収益率は、小数点第二位を四 捨五入して表示しています。

※過去の実績は将来の収益を保証する ものではありません。





受賞年	受賞詳細
2022年	R&I ファンド大賞 2022 投資信託10年/国内株式コア部門 優秀ファンド賞
2022年	投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year 2021 第13位
2021年	R&I ファンド大賞 2021 投資信託10年/国内株式コア部門 優秀ファンド賞
2021年	投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year 2020 第5位
2020年	R&I ファンド大賞 2020 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2019年	R&I ファンド大賞 2019 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2018年	R&I ファンド大賞 2018 NISA/国内株式部門 優秀ファンド賞

※R&Iファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

R&Iファンド大賞2022の「投資信託10年部門」は過去10年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンを加味したうえで選考しています。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間があり、残高がカテゴリー内で上位50%以上かつ30億円以上であることが条件です。選考対象は国内籍公募追加型株式投信とし、「投資信託10年部門」は確定拠出年金専用およびSMA・ラップ口座専用以外を対象にしています。評価基準日は2022年3月31日です。

各受賞年の評価基準年月日等は次のとおりです。

- ・2021年:2016、2021年それぞれの3月末における5年間および2021年3月末時点における3年間のシャープレシオがいずれも上位75%のファンドを対象に、2021年3月末における10年間のシャープレシオによるランキングに基づいて表彰しています。
- ・2020年:2015、2020年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2020年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2020年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。
- ・2019年:2014、2019年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2019年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2019年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。
- ・2018年:「NISAスクリーニング」の2018年版(2月8日に公表)の基準を満たしたファンドに関して、2018年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。

※投信ブロガーが選ぶ! Fund of the Yearについて

投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Yearは、投信ブロガーの投票を運営委員会が集計したランキングです。当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。各受賞年の評価基準年月日等は次のとおりです。海外籍ETFについては、日本の証券会社を通じて買付可能なものを対象としています。

- ・2021年:2020年10月31日までに設定された投資信託(ETF含む)が対象です。http://www.fundoftheyear.jp/2020/
- ・2022年:2021年10月31日までに設定された投資信託(ETF含む)が対象です。http://www.fundoftheyear.jp/2021/

銘柄紹介(基準日時点の組入比率1~10位)

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
		į	銘柄紹介			
	ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	2.48%
1	PS5発売に伴うハードウェア売上や、	4,500万人を超え	るPlayStation	Plus(ゲームt	ナブスクリプション)会員、堅調
•	な金融事業、スマホカメラの多眼化に	こよるCMOSイメ・	ージセンサーの	需要増などを背	背景に好調な業績が	期待される。
	東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	2.12%
2	生命保険、損害保険、不動産、資産資元のバランスが優れている日本の保限				資本政策が話題であ	り、成長と還
	オリエンタルランド	4661	大型	プライム市場	サービス業	2.04%
3	東京ディズニーランドと東京ディズニ 電鉄であり、米国資本の影響はほぼ皆				设も併せて運営。 最	大株主は京成
	味の素	2802	大型	プライム市場	食料品	1.86%
4	調味料や冷凍食品などで高い国内シェ	ェアを持ち、海外 [・]	でも独自に構築	した販売チャネ	ネルを幅広く展開し	ている。食品
	事業の他に、半導体向け材料やバイス	す 向けサービスな	ど高収益な事業	も伸びており、	成長が期待できる	0
	川崎汽船	9107	大型	プライム市場	海運業	1.85%
5	1919年に現川崎重工業の船舶部門が に業績を伸ばす。最適資本構成を意 室効果ガスゼロを目標に掲げるなど、	識した経営に特徴	があり、投資収	又益と分配効率		
	東京エレクトロン	8035	大型	プライム市場	電気機器	1.80%
6	日本が誇る半導体製造装置の開発・ 工程のうち前工程に多数の製造装置で					
	IHI	7013	大型	プライム市場	機械	1.75%
7	三菱重工や川崎重工と並ぶ、国内総 タンクなど、私達の生活には必要不 や、発電所の効率化、LNGの貯蔵なる	可欠な存在。世界	マ中がリオープ:			
	インターネットイニシアティブ	3774	大型	プライム市場	情報・通信業	1.70%
8	企業向けのプロバイダー、個人向けの 開発などでも成長している。	の格安スマホが主:	力事業。近年は	インターネット	へのセキュリティ分	野やシステム
	日立製作所	6501	大型	プライム市場	電気機器	1.62%
9	日本を代表するコングロマリット企業 かつてのような規模重視から資本効率 したストックビジネスへの移行を進め	性重視へと変革を	はかっている。 ³	現在Lumadaとい	ハうDXプラットフォ	
	日揮ホールディングス	1963	大型	プライム市場	建設業	1.59%
10	1928年に設立された日本初のエンジ手掛ける国内最大手。					

※規模は作成基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。 大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満) ※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

銘柄紹介(2022年2月28日時点)

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	大型	東証一部	輸送用機器	2.50%
2	オリエンタルランド	4661	大型	東証一部	サービス業	2.32%
3	ソニーグループ	6758	大型	東証一部	電気機器	2.16%
4	東京海上ホールディングス	8766	大型	東証一部	保険業	1.84%
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	東証一部	銀行業	1.67%
6	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.57%
7	東京エレクトロン	8035	大型	東証一部	電気機器	1.50%
8	INPEX	1605	大型	東証一部	鉱業	1.41%
9	三井住友フィナンシャルグループ	8316	大型	東証一部	銀行業	1.38%
10	信越化学工業	4063	大型	東証一部	化学	1.37%
11	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.32%
12	デンソー	6902	大型	東証一部	輸送用機器	1.29%
13	HOYA	7741	大型	東証一部	精密機器	1.27%
14	伊藤忠商事	8001	大型	東証一部	卸売業	1.26%
15	GMOペイメントゲートウェイ	3769	大型	東証一部	情報・通信業	1.25%
16	第一生命ホールディングス	8750	大型	東証一部	保険業	1.23%
17	インターネットイニシアティブ	3774	大型	東証一部	情報・通信業	1.22%
18	日本電信電話	9432	大型	東証一部	情報・通信業	1.22%
19	三菱商事	8058	大型	東証一部	卸売業	1.22%
20	日立製作所	6501	大型	東証一部	電気機器	1.21%
21	住友金属鉱山	5713	大型	東証一部	非鉄金属	1.18%
22	オリックス	8591	大型	東証一部	その他金融業	1.17%
23	味の素	2802	大型	東証一部	食料品	1.05%
24	IHI	7013	大型	東証一部	機械	1.04%
25	メルカリ	4385	大型	マザーズ	情報・通信業	1.02%
26	日本製鉄	5401	大型	東証一部	鉄鋼	1.01%
27	富士電機	6504	大型	東証一部	電気機器	1.00%
28	クレハ	4023	中小型	東証一部	化学	0.97%
29	エクシオグループ	1951	中小型	東証一部	建設業	0.95%
30	ジャパンマテリアル	6055	中小型	東証一部	サービス業	0.91%

[※]規模は以下の区分に基づき作成しています。 大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満) ※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

投資環境(株式市場等での出来事)について

5月の株式市場は、景気減速懸念や欧米を中心としたインフレ高進と急速な利上げ懸念から欧米株主導で軟調な展開で始まりましたが、徐々にこれらの懸念が後退して終盤は切り返しました。多くのアジア株市場がコロナ禍で欧米株を多くアンダーパフォームしていた反動もあってか対欧米株比でアウトパフォームする展開が続き、月末の日経平均株価は前月比+1.6%の27,279.80円に反発しました。

5月の日経平均株価は動意に欠ける展開で始まりました。米国ではアマゾンの決算下振れやインテル、Appleの弱気ガイダンスを受けてメガテック株全般に売りが波及し、NASDAQは早々に年初来安値を更新しました。注目のFOMC(米連邦公開市場委員会)では2000年以来となる50bpsの利上げが決定されたものの、これ自体は予想通りだったほか、パウエル議長の発言がハト派と解釈されて一旦株高で反応しました。しかしパウエル議長のコメントを楽観的に捉えすぎとの見方が徐々に広がり、翌営業日には金利高、株売り反応となりました。また中国のロックダウン延長も嫌気されて、米国ではNYダウやS&P500も年初来安値を更新しました。米国株安を受けて日本株もやや冴えない展開となり日経平均株価は約2か月ぶりに26,000円の大台を割り込む場面が見られたものの、既に割安感が台頭しているほか、米国とは対照的に日銀がハト派姿勢を貫いていること、そして円安基調も手伝ってか大きく崩れるような動きは見られず、下値も限定的となりました。

月半ばに入ると、米国CPI(消費者物価指数)の予測比上振れ、一部の仮想通貨の急落といった悪材料があった一方、上海のロックダウン緩和期待、中国テック企業への規制緩和期待といった好材料も散見されて、米国株は小幅に切り返す場面も見られました。しかし、小売り大手ウォルマートやターゲットが、サプライチェーン問題やインフレ高進などを理由に業績見通しを引き下げたことで消費減速懸念が台頭し、またFRB(米連邦準備制度理事会)議長が「明確で納得できるインフレ後退まで利上げを継続」と発言するなど急速な利上げ懸念も再燃するなか、米国株は大きく売り込まれて主要三指数揃って年初来安を更新していきました。一方、日経平均株価に関しては上値こそ重かったものの、やはり対米国株比ではアウトパフォームが継続し、月半ば以降は26,000円の大台上で推移しました。

月後半に入ると米国小売企業の好決算が相次ぎ、消費減速懸念が後退しました。またFRBメンバーからは、インフレの状況次第では来年以降の利下げ可能性もあり得るとの発言が出るなど、これまでタカ派一辺倒だった姿勢が軟化、またFOMC議事録は次回以降2回の利上げを大半のメンバーが支持と予想範囲内の内容に留まったことが過度のタカ派懸念を後退させ、米国株も漸く反発の動きに転じました。日経平均株価は約1カ月にわたり26,000円から27,000円の狭いレンジ内でもみ合っていましたが、30日に漸くレンジを上抜け、27,279.80円と前月比プラス圏を回復して月末を迎えました。



トレーディング部長 岡田 雄大

[※]組入比率など運用についての記述 は、すべてひふみ投信マザーファ ンドに関するご説明です。

[※]当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

[※]日経平均株価に関する著作権、知 的財産権その他一切の権利は株式 会社日本経済新聞社に帰属します。

運用責任者よりお客様へ

毎年、5月は3月決算の企業の新年度ガイダンスのシーズンであり、 ゴールデンウィーク中に米国中央銀行の金融政策の方針のアナウンス が重なります。これについてはタカ派継続のニュースに詳細等は譲る として、主に日本企業の決算について気付きを記します。

まず、現状は原材料価格高騰が意識され、「悪い円安論」が大勢を占めますが、着地の決算に関しては、為替が円ベースでプラスに寄与しています。製造業の多くは、製造拠点を海外に移し、いわゆる「外外取引」といわれる地産地消化を進めてきたこともあり、物価高の影響は販売価格へ転嫁できていると思われます。物価が上昇することで国内の輸入品を多く利用している企業などに大きな影響を及ぼしています。そして、依然として物価高騰は継続してるため、新年度予算を控えめにする企業が多く見受けられます。

次に、株主還元姿勢の変化です。アベノミクス以降、大手企業は自社のバランスシート上の無駄を省く活動を行なってきました。今回の決算では、好調な企業も不調な企業も、大手企業も中小企業もその姿勢を強化し、ファイナンスの基本中の基本である「借りたら返す」を実践する姿勢が過去最高に明確になったと思います。自社株買いの発表件数やその予定額も過去最高でしょうし、資本効率をどう高めるかの指針が示されたことは、日本株が米国株のような経営姿勢に変化したようにも思えます。

この点をもう少し言及すると、体力のある大手企業がこの活動については開始時期が早かったのですが、最近は中小企業もその流れに乗っていますし、割安株の代表格である地方銀行も思い切った動きをとっています。中小企業は大手企業と比較して有利なのは、スピードと小回りが利くところです。シンプルな経営体制からなされるシンプルで速い行動が企業価値を高めますが、それは大手企業よりも早い改善ができる可能性を予見させます。ここまで中小型株への投資は相場の状況もあり、控えめなスタンスをとっていましたが、当社が得意とする成長が期待できる中小型株への調査は以前と変わらず、ここに好機があるのではないかと考えています。

5月のひふみ投信の基準価額は、0.54%の上昇でした。TOPIX(東証株価指数、配当込み)が0.78%の上昇ですので、相場についていくことは従前からの考え通りです。しかし、前述の通り、世に変化が生じています。そこに投資機会のある可能性が高まっています。いつもながら同様のメッセージとなりますが、変化を捉えるべく皆様からお預かりした大切な資金をもとに引き続き全力で調査・運用活動に励んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ひふみ投信 運用責任者 ファンドマネージャー 佐々木 靖人

- ※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。
- ※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

ひふみ公式LINEアカウント



「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらからLINEお友だち登録をお願いします またはLINEにて「ひふみ」で検索

LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば!」 へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます!

市場環境の見通しについて

運用本部 経済調査室長 三宅一弘



底入れ上昇に向かうのか、夏相場の行方

注目の米物価高騰に鈍化の兆し

世界株式市場は年初以降、下落・調整相場を辿ってきました。特に昨年まで値上がり率の大きかった米国株、なかでもハイテク株のウェイトの高いNASDAQの大幅下落が顕著です。下落要因はインフレ、金融引き締め、資源エネルギー高、露宇戦争、中国景気の失速などが挙げられ、世界的株安はいわば複合的な下落相場の様相ですが、主因は欧米を中心とする物価高騰と抑制のための強硬な金融引き締めへの警戒にあると考えられます。

米国の金融政策は3月のFOMC(連邦公開市場委員会)で0.25%、5月に通常の2倍の0.5%の利上げが決まり、保有資産の減額政策(QT)も示されました。パウエル議長の記者会見では次回6月と7月の2会合に各0.5%の利上げを示唆しました。当局としてはインフレ抑制のため大幅利上げを継続するものの、かなり明確な今後の方針を示すことで市場の混乱を抑制したいとの意図がにじみ出たとみられます。

一筋の光明は米国のインフレ率や賃金上昇率に頭打ちの兆しが出てきたことです。FRB(連邦準備制度理事会)が重視するコアPCE価格指数の前年比は2月の+5.3%をピークに3月、4月と 2π 月連続鈍化に転じました。仮に夏場に物価鈍化が一段と鮮明になれば、9月のFOMCでは0.25%利上げにスローダウンする余地が広がると推察されます。利上げが継続してもペースダウンがみえてくれば株価の底入れ・上昇につながる可能性が高まりそうです。

欧州は露宇戦争と対口経済制裁に伴うエネルギーの供給制約などが直撃しており、米国に比べて物価高騰のピークアウトが後ズレし、ECB(欧州中央銀行)は7月以降急ピッチの金融引き締めに向かう可能性が高そうです。また、中国はゼロコロナ政策(⇒都市封鎖)から景気下ブレが顕著になりましたが、今後、金融緩和と財政刺激で底上げを目指しています。ただ、ゼロコロナ政策を堅持するため、景気下ブレリスクを内在していると推察されます。一方、日本は6月以降、訪日外国人の増加が予想されるなど、景気回復色が強まりそうです。

米国など世界株にとって最終的に米国が「景気後退」に陥るのか否かが焦点とみられます。株価水準面では金融引き締めと金利上昇を織り込む形で、米国株をはじめ主要国の株価収益率(PER)が大幅に低下していますが、5月下旬にはバリュエーション調整が進展し、割安圏を示唆する水準に入ったと評価されます。年内に米国の物価安定の道筋がみえてくれば、過度な金融引き締めと景気後退を回避できそうです。そのような場合、先見的に動く株式市場は夏場に底入れする可能性が高まるとみられます。

一方、物価高継続による過度な金融引き締めなどで米国が景気後退に陥る場合には、予想利益が減少に向かい、米国株は弱気相場の様相を強め、一段の世界株安になりそうです。これは現状、メインシナリオではありませんが、今年後半以降の注目点です。その際、米国経済を支える企業や個人の消費・投資行動に重要な影響を与える長期金利がカギとみます。米国の長期的な「期待インフレ率」は現状2.5~3%ですが、長期金利がこれを大幅に上回るならば経済に抑制的と評価されます。例えば、米10年国債利回りが4%台に上昇すると赤信号点滅でしょうし、逆にそこまで上昇しない場合には軟着陸の可能性が高いと推察されます。世界株にとって今夏場は底入れ上昇か、弱気相場かの岐路になりそうです。

(6月2日)

【pick up! ひふみコンテンツ】6月のおすすめのコンテンツをご紹介します!

6月です。梅雨の季節は休日もご自宅でゆっくり過ごす、という方もいるかと思います。 今回は、ゆっくり過ごすお時間に楽しんでいただけるコンテンツをご紹介します!

【毎週金曜日更新】連載小説『若者よ、人生に投資せよ』



YouTubeチャンネル「お金のまなびば!」では藤野がおす すめする「お金の本」ベスト3をご紹介しています。

動画では藤野にとってのヒーロー本ともいえる入社したて の頃の藤野さんに大事なことを教えた本と、ランキングの 理由について語っています。

投資家が読んでいる「お金」の本、紹介します



YouTubeチャンネル「お金のまなびば!」では藤野がおすすめする「お金の本」ベスト3をご紹介しています。

動画では藤野にとってのヒーロー本ともいえる入社したての頃の藤野さんに大事なことを教えた本と、ランキングの理由について語っています。

つみたて投資を長期で続けると本当に有利なの? ひふみ投信を1年間、5年間つみたてした場合のパフォーマンスを比較!





上記のグラフは、ひふみ投信を1年間あるいは5年間つみたて購入した場合のパフォーマンス(運用成果)を比較したものです。 長期間(5年間)つみたてした場合のほうが、短期間(1年間)つみたてした場合よりも、元本割れする可能性が低くなる傾向がありました。これらはひふみ投信の過去の実績であり、今後の実績をお約束するものではありませんが、ひふみ投信をつみたて購入する場合、つみたて期間が長期になればなるほど、つみたて投資の効果を実感しやすくなる可能性があります。

つみたて投資はぜひコツコツと"長期で続ける"ことをご検討ください!

※期間:2008年11月12日~2022年3月14日当社作成

※各月5日(休日の場合は翌営業日)を引き落とし日とし、5営業日後を約定日(休日の場合は翌営業日)として月1回つみたてした場合の、それぞれの収益率を 試算しています。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。

※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする 「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該 過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる 税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等をすることがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。 多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

昨今テレビ離れが叫ばれていますが、皆さんが好きだったテレビ番組を教えてください。



Fujino Hideto 藤野 英人 代表取締役会長兼社長 最高投資責任者

子供の時はテレビばかり見ていました。その当時流行っているものはみんな見てました。それがいつしかYouTubeやSNSになっていったという話で、もし昔、SNSがあったらSNSをしていてテレビは見てなかったでしょう。



Yuasa Mitsuhiro 湯浅 光裕 代表取締役副社長 未来戦略部長

1981年に始まった「Best Hit USA」に心が踊りました。それまでアメリカンカルチャーコンテンツの中心はTVドラマ中心だったのですが、音楽と映像が合体したミュージックビデオは海外ライフスタイルを立体的に感じることができたコンテンツです。高校生になりたての私はとてもワクワクしました。司会の小林克也さんは81歳になった今も現役でやっています。ライヴが大切ですね。



Watanabe Shota 渡邉 庄太 運用本部長 株式戦略部長 シニア・アナリスト シニア・ファンドマ ネージャー

1990年代から2000年代初頭にかけて帰宅後に、独身寮で深夜番組を観るのが好きでした。番組内で流れるショートアニメの話題で同僚たちと盛り上がったりして、いま思うと他愛もないことだけど、とても楽しかったですね。



Yatsuo Hisashi 八尾 尚志 シニア・アナリスト シニア・ファンドマ ネージャー

土曜日に小学校から帰ったらお昼ご飯を食べながら吉本新喜劇を見て、遊んで帰ってきて晩ご飯が出来るまでの時間で宝塚歌劇をぼーっと見る、という典型的な関西の子だったこともあっていまでもテレビは見ます。好きな番組はブラタモリ、タモリ倶楽部、孤独のグルメ、イッテQ、鉄腕DASH、ドラマではアンナチュラル、でしょうか。



Sasaki Yasuto 佐々木 靖人 シニア・アナリスト シニア・ファンドマ ネージャー

昔はテレビを全く見なかったのですが、今はわりと見るようになりました。いま好きなのはNHKの「ドキュメント72時間」、BSで放送されている「球辞苑」、BS日テレの「小さな村の物語 イタリア」、朝日放送の「探偵!ナイトスクープ」です。ドキュメンタリーやテンポよく深く掘り下げていっているコンテンツはYouTubeよりもテレビの方が力があると感じています。



Wei Shanshan 韋 珊珊 シニア・アナリスト シニア・ファンドマ ネージャー

残念ながら好きだったテレビ番組はありません。テレビは朝ご飯と 晩ご飯のときにニュースを聞くときにつけているぐらいです。 YouTubeやAmazon Prime、また本から興味のある内容を選んで見 るようにしています。



Takahashi Ryo 高橋 亮 シニア・アナリスト シニア・ファンドマ ネージャー

探偵!ナイトスクープ、吉本新喜劇、紳助の人間マンダラ、痛快! 明石家電視台等々、関西ローカルばかりですね。

運用メンバーからのメッセージ



Ono Shotaro 小野 頌太郎 シニア・アナリスト

おかあさんといっしょは良く見てました。最近だとテレ東のシナぷしゅをYouTubeで見ています。先日豊洲までシナぷしゅに会いに行ってきました。



Senoh Masanao 妹尾 昌直 シニア・アナリスト

アメリカ横断ウルトラクイズ。地元周辺以外出た事がなかった自分にとっては、わくわくしながら見ていた記憶があります。そういう意味では世界ふしぎ発見!も好きです。あとは、毎回ひみつ道具が出てくるドラえもんも欠かさず見てました。



Oshiro Shintaro 大城 真太郎 シニア・アナリスト

伝統の一戦(巨人vs阪神)、踊る大捜査線、美少女戦士セーラームーン。



Naito Makoto 内藤 誠 シニア・アナリスト

小学生のときは"スラムダンク(アニメ)"を見てモチベーションを高め、サッカーの練習に励んでいました。競技は異なりますが、どのスポーツにも通じる大切な言葉が散りばめられていた気がします。



Tada Kensuke 多田 憲介 アナリスト

子供の頃からあまりテレビは観てきませんでした。 何故なのか考えてみたのですが、「なんとなく」情報収集することが苦 手だったのだと思います。アナリストという仕事を通じて、たくさんの 素晴らしい企業との偶然の出会いを経験してからは、テレビを含め「な んとなく」入ってくる情報を大切にするようになりました。もちろんテ レビは「なんとなく」観るもの、という考えは勝手な思い込みであるこ とは承知しています。



Miyake Kazuhiro 三宅 一弘 運用本部 経済調査室長

子供の頃は、巨人の星などのスポコンアニメ、吉本新喜劇や藤山寛美の松竹新喜劇が楽しみでした。社会人になってからはテレビを見る機会がニュース、歴史や自然などの特集番組、2時間ドラマなどに減りました。コロナ禍以降、報道番組などテレビを見る機会が増えています。



Hashimoto Yuichi 橋本 裕一 マーケットエコノミ スト

大河ドラマは大好きでした。保育園児の頃から観ていました。意味の分からない言葉や昔訛りがたくさん出てきて、歴史上の人物に感情移入していました。中学生くらいのとき「なんか台詞が現代語っぱくなったなぁ」と個人的に感じたシリーズがありました。なんとなく気持ちが萎えてそこから観る習慣がなくなりました。

ひふみ投信の特色

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色(ご参考)

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ①日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ②株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみらいとの特色(ご参考)

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

投資リスク

- 基準価額の変動要因
- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券(外国の証券には為替リスクもあります。)に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様(受益者)に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。
- 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。 また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より 低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場(新興国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの関係法人

委託会社:レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社:(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社

(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社 (ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社

販売会社:レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



レオス・キャピタルワークス株式会社

コミュニケーション・センター

電話:03-6266-0123 メール:cc@rheos.jp

受付時間:営業日の9時~17時

ウェブサイト:https://www.rheos.jp/

お申込メモ

	ひふみ投信	ひふみワールド(ご参考)	ひふみらいと(ご参考)		
商品分類	追加型投信/内外/株式	追加型投信/海外/株式	追加型投信/內外/資産複合		
当初設定日	2008年10月1日	2019年10月8日	2021年 3 月30日		
信託期間	無期限				
決算日	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)		
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を	と行ないます。 分配金再投資専用のため	、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け作	付けます。			
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> (1万口当り)				
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。				
換金解約単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。				
換金価額	換金申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> (1万口当り)				
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。 換金申込受付日から起算して6営業 日目から支払われます。				
購入・換金 申込受付 不可日	_	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、お申込受付は行ないません。			
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。				
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。				

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用: ありません。

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用: 次のとおりです。

	ひふみ投信	ひふみワールド(ご参考)	ひふみらいと(ご参考)
運用管理費用(信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対 して <mark>年率1.078%(税込)</mark> を乗じて 得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して <mark>年率1.628%(税込)</mark> を乗じて得た額	ひふみらいと:信託財産の日々の純 資産総額に対して <mark>年率0.55% (税</mark> 込)を乗じて得た額
			投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)):純資産総額に対して年率0.0022%(税込)実質的な負担*:純資産総額に対して年率0.5522%(税込)程度
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用(信託報酬)を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。		
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) 以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。	信託財産の純資産総額に対して年率 0.0055%(税込)以内を乗じて得た額。 監査費用は監査法人との契約条件の 見直しにより変更となる場合があり ます。	信託財産の純資産総額に対して年率 0.0055%(税込)を乗じて得た額。(上 限年間99万円(税込)。当該上限金額 は契約条件の見直しにより変更とな る場合があります。)
	日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 (それにかかる消費税)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。		投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に 関する租税、信託事務の処理に要す る諸費用および受託会社の立て替え た立替金の利息など。
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。